



親子で楽しくスケッチ

■親子スケッチ教室が5月11日に行われ、31人が参加しました。参加者は青空美術館の作品や枕崎駅舎を親子で楽しみながらスケッチしていました。



農家の仕事を学ぶ

■5月1日、桜山小学校3年生24人が道野町でいちごを栽培している道野和敏さんのビニールハウスでいちご狩りを体験し、いちご農家の仕事について学習しました。



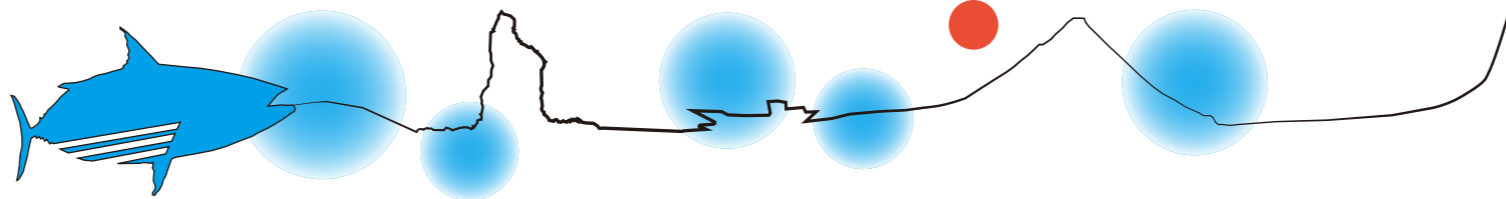
美しい音色に心癒される

■5月17日、枕崎ミュージックフェスティバルが市民会館で行われました。国内外で活躍する音楽家たちの美声や奏でる音色に観客約800人は心癒されていました。



「黒島流れ」の犠牲者の冥福を祈る

■5月18日、少年の船が行われました。参加者132人は、黒島沖で洋上慰霊祭を行った後、黒島に上陸し、地元住民の手厚い歓迎を受けました。交歓会では枕崎小金管バンドとジャンベのセッションなどで交流を深めました。



立神野球スポーツ少年団が準優勝 ～全日本学童軟式野球大会県予選大会

5月4日・5日に、全日本学童軟式野球大会県予選大会が市営野球場で開催され、県内各支部から16の代表チームが熱戦を繰り広げました。

枕崎支部からは立神野球スポーツ少年団が出場。トーナメントを勝ち上がり、決勝戦まで進出しましたが、始良支部の帖佐野球スポーツ少年団に残念ながら惜敗し、準優勝しました。同少年団は、8月に徳島県鳴門市で開催される「阿波おどりカップ全国学童軟式野球大会」に出場します。

19日には、神園征市長への報告会が市役所で行われ、主将の若林佑我くん(立神小6年)は、「チームプレーができたおかげで準優勝できたと思います。全国大会では1つでも多く勝って、優勝できるよう頑張りたいです」と話してくれました。



枕崎野球スポーツ少年団が準優勝 ～九州少年軟式野球県予選大会

4月26日・27日に曾於市で開催された、九州少年軟式野球県予選大会で、枕崎野球スポーツ少年団が準優勝しました。同少年団は8月に大分県で開催される九州少年軟式野球大会に県代表として出場します。

5月22日には、神園征市長への報告会が市役所で行われ、主将の泰海斗くん(枕崎小6年)は、「みんなで頑張って、チームプレーができたおかげで準優勝できました。九州大会では、全員野球で優勝目指して頑張りたいです」と話してくれました。



おいしい野菜を作ってくれる生産者に感謝 ～野菜生産者との交流給食

5月20日に立神中学校で、給食センターに野菜を納めている、田中正治さん、原田サチミさん、山崎初男さん、生駒由美子さんの4人と同校1年生との交流給食が行われました。

生徒たちは生産者に野菜の育て方などを質問しながら、生産者が育てた野菜の入った給食をおいしそうに食べていました。

松久保花鈴さんは「私たちは給食をいつも楽しみにしています。これからも作物を作ってください皆さんのことを忘れずに、感謝の気持ちで給食を食べたいと思います」と話していました。



子どもも大人も楽しんだ2日間 ～第32回こどもの日かつおまつり

「こどもの日かつおまつり」が、5月4日・5日に地場産業振興センター周辺で行われました。

会場は県内外からたくさんの家族連れなどにぎわいました。恒例のかつお節削り大会やかつお一本釣り大会、かつおパックの掴み取り大会などが行われ、子どもだけでなく大人もたくさん参加し、童心に返りながらイベントを楽しんでいました。

また、枕崎鯉船人めしを始めとする多くのご当地グルメに舌鼓を打つなど、来場者は楽しい連休のひと時を過ごしていました。



今年のお茶の出来は？ ～枕崎市茶業青年の会・荒茶品評会

5月14日、枕崎市茶業青年の会が主催する荒茶品評会が、南さつま農業協同組合枕崎支所で開催されました。品評会には29点が出品され、4人の審査員が茶葉の色や茶の味、香りなどを審査した結果、真香園茶生産組合の真茅知寛さんのお茶が最優秀賞に選ばれました。今年度は、かごしまお茶まつり枕崎大会が11月に開催されることもあり、例年以上に全茶工場が一丸となって摘採・製造を行ったそうです。

同会会長の道野貴久さんは「昨年よりいいお茶ができました。若い力で枕崎の茶業を引っばって、11月に開催される大会で、力を発揮できるようにしたいです」と話していました。